

令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（北海道）

公立高等学校の不登校

1 公立高等学校における理由別長期欠席者数（上段）と1,000人当たりの理由別長期欠席者数（下段）

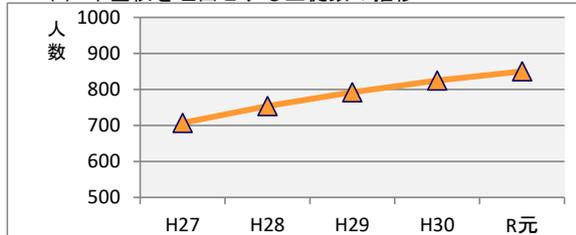
年度	在籍数（人）	不登校	理由別長期欠席者数				計
			うち90日以上欠席	経済的理由	病気	その他	
令和元年度	93,295 (1,000人当たり)	850 9.1	252 2.7	17 0.2	423 4.5	92 1.0	1,382 14.8
平成30年度	95,670 (1,000人当たり)	825 8.6	274 2.9	15 0.2	365 3.8	49 0.5	1,254 13.1

※年間30日以上欠席した者

※下線：当初公表資料からの訂正部分

2 公立高等学校における不登校の状況

(1) 不登校を理由とする生徒数の推移



<不登校生徒数の前年度との比較>
○前年度に比べ、25人増加している。

【内訳】
全日制 526人（前年度 447人）
定時制 324人（前年度 378人）

(2) 不登校生徒数（上段）と1,000人当たりの不登校生徒数（下段）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
不登校生徒数	707	754	792	825	850
1,000人当たり	6.9	7.6	8.1	8.6	9.1

※年間30日以上欠席した者のうち、主たる理由が「不登校」の者の数

3 学年別不登校生徒数

	不登校生徒数					
	令和元年度			平成30年度		
	人数	1,000人当たり	構成比	人数	1,000人当たり	構成比
第1学年	195	8.9	22.9%	154	6.7	18.7%
第2学年	160	7.2	18.8%	110	4.8	13.3%
第3学年	75	3.4	8.8%	74	3.2	9.0%
第4学年	3	9.5	0.4%	6	15.3	0.7%
単位制	417	15.7	49.1%	481	18.5	58.3%

4 不登校の要因

区分	学校種	学校に係る状況							家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	
		いじめ	問題関係	いじめ関係を除く	教職員の関係	学業不振	進路に係る不安	クラブ等への活動不適	学校の問題	適学、進学、転編の不	家庭の急激な生活環境変化	親子の関わり方	家庭内の不和		非行、生活のありさ
全日制	①主たるもの	0	108	4	40	55	5	6	48	14	23	9	42	146	26
	②主たるもの以外にも当てはまるもの	0	23	5	21	22	3	1	25	8	35	6	32	49	7
定時制	①主たるもの	0	33	0	0	1	4	0	136	17	7	6	38	61	21
	②主たるもの以外にも当てはまるもの	0	54	7	69	21	10	2	71	4	11	6	19	15	24
合計	①主たるもの	0	141	4	40	56	9	6	184	31	30	15	80	207	47
	②主たるもの以外にも当てはまるもの	0	77	12	90	43	13	3	96	12	46	12	51	64	31

(注1) 「主たるもの」については、「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した児童生徒全員につき、主たる要因を一つ選択。

(注2) 「主たるもの以外にも当てはまるもの」については、主たるもの以外で当てはまるものがある場合は、一人につき2つまで選択可。

(注3) 下段は、不登校児童生徒数に対する割合。